



# 広島中央トピックス

## 特産スイカ好評 となりの農家黒瀬店で祭り



JA黒瀬支店ふれあい委員会とJA黒瀬アグリセンターは7月26日、産直市「となりの農家」黒瀬店でスイカ祭りを開きました。地元で生産する「黒瀬スイカ」を生産者が対面で試食販売。用意した約500玉が2時間で完売しました。



▲スイカの試食をすすめる生産者(右)

多く出荷できるようにしました。4aで100本を栽培する楠人さんは「消費者からの声が届みになる。来年も元気にスイカを作りたい」と話します。

## 糖度高く仕上がりに 大和町桃生産出荷組合



三原市の大和町桃生産出荷組合は7月中旬から8月中旬、特産の桃を出荷しました。降雨量が少なかったため玉太りはやや小ぶり傾向でしたが、例年以上に糖度が高く、品質良く仕上がりました。JA全農ひ

りしまの注文などで贈答用を全国に発送した他、県内市場に出荷しました。

同出荷組合は、「白鳳」「あかつき」など30種類以上を栽培してい



▲桃の品質を一つ一つチェックして化粧箱に詰めるJA職員

ます。同町津久地区は、1957年に桃の栽培を開始。標高400mのなだらかな台地で昼夜の寒暖差が大きいため、実の締まりと味、日持ちが良いと評判です。

## 組織活性化へ 野菜振興協議会総会



JAひろしま広島中央地域野菜振興協議会は7月29日、東広島市で第22回通常総会を開きました。生産者や関係者約50人が参加。今年度の活動計画や収支予算などを決め、協議会活動の活性化などを申し合わせました。

大下博隆会長は「JAのスケールメリットを発揮するためにも、広域的な情報交換をして活発な協議会にしていきたい」と呼び掛けました。

研修後は、同市医療保健課と大塚製薬の担当者を講師に、熱



▲あいさつをする大下会長

中症対策や健康づくりについて学びました。また、東広島流通センターを活用した販売拡大についても情報共有しました。

## 園児コーン皮むき 大和認定こども園



三原市大和町の株式会社大和アグリは6月26日、同町の大和認定こども園の園児56人に白いトウモロコシ「ロイヤルコーン」120本を贈りました。

食育を通して、農業に興味を持ってもらおうと企画。3、4歳児22人は皮むきを体験。同社のスタッフ2人とJA大和アグリセンターの職員に教わりながら皮やひげをむきました。

同社は30aでトウモロコシ9,200本を栽培し、JA産直市



▲教わりながらトウモロコシの皮をむく園児

などに出荷しています。東麻耶社長は「園児の喜びは社員の励みにもなる」と喜びました。

# なるほどえ~のう! 営農情報

## 水稲

### 9月からの管理について

#### ◆栽培管理・作業について

早生品種のコシヒカリでは、稲刈りが始まっています。稲穂の熟れ具合をよく観察し、刈り取りが遅れないようにしましょう。

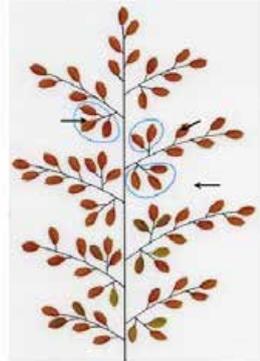
中生品種は、間断灌漑の水管理を行ないます。落水は、稲刈りの10日前を目安に行ないます(出穂後約30~35日)。また、天候や田んぼの土壌条件なども影響するため、圃場条件をよく確認しましょう。

◆刈り取り適期について

稲穂の熟れ具合や積算温度などを目安に刈り取りを行ないましょう。

#### ●稲穂の熟期(籾黄化率)

(2)刈取適期 (籾黄化率85~90%)



点線内の2次枝梗が黄化した時

(1)刈取適期7~10日前 (籾黄化率50~70%)



印の点線内の籾(上・中位1次枝梗)は黄化しているが、残りの点線内の籾(2次枝梗)はまだ緑色

#### ●出穂から収穫までの積算温度(目安)

- 早生品種(コシヒカリ・あきさかりなど)：950~1000℃
- 中生品種(中生新千本など)：1000~1050℃
- 晩生品種(あきるまん・恋の予感など)：1050~1100℃

#### ◆乾燥調整のポイント

##### ●生籾の変質防止

コンバインで収穫した籾は変質しやすく、籾水分や気温が高いとさらに変質しやすくなります。刈り取り後は、4時間以内に送風乾燥します。

#### ●乾燥温度と仕上げ水分

高速での継続乾燥は胴割れが発生しやすくなり、品質や食味を低下させる原因となります。毎時乾燥減率0.8%以下で乾燥します。

乾燥機張り込み後2時間程度通風乾燥を行ない、水分ムラをできる限り少なくして加熱乾燥するとより安全です。適正な玄米水分目標は14.5%です。乾燥機での乾燥終了時に再度水分測定器で測定し、水分過不足を確認しましょう。

#### ◆台風対策について

##### ●速やかな排水対策

圃場内から速やかに排水できるように対策してください。

##### ●水分蒸散の抑制対策

強風で葉からの急激な水分蒸散により葉先枯などの障害が発生しやすくなります。蒸散を防ぐためできる限り深水で管理してください。

#### ◆病害虫対策について

収穫までに日数がかかる中生品種などは、出穂時期の強い風で穂が傷付くと「白穂」や「内えい褐変病」などが発生し、収穫量に大きく影響することがあります。

また、カメムシ類・ウンカ類の発生状況や情報を確認し、発生に応じて出穂前後の基幹防除と併せて補完防除により対策を行なってください。

#### ◆出荷の際の注意点

- 水稲栽培履歴及びチェックシートを出荷前に必ず提出してください。
- 玄米水分は14.5%以下(過乾燥に注意)

乾燥時及び籾摺り時に水分計で測定してください。

- 正味重量30kg(皆掛け重量30.5kg)

量目不足にならないよう、ライスグレダーなどを調整確認してください。

#### ●稲こうじ、クサネム(種)の混入

等級格付けに影響し、出荷できないこともあります。多発してる圃場は、別収穫・乾燥をしましょう。

#### ●モミ混入

籾摺り機の調整整備をしてください。

# 野菜

## 秋野菜の栽培について

秋は春や夏よりも気温が低くなるので、家庭菜園の難易度が少し上がりますが、秋植え野菜の栽培方法の基本や各野菜の栽培ポイントを知っていれば、家庭菜園初心者もおいしい野菜を育てることができます。

### ★栽培ポイント

- ・種まきや植え付けに適した気温や時期を逃さないこと
- ・栽培温度が適温であること  
など

また、秋植えの野菜は初夏野菜よりも管理の手間がかかりません。プランター栽培はもちろん、種類によっては露地栽培で育てられる品種が多いのも特徴のひとつです。

### ◆秋植え野菜のメリット

#### ①甘くて美味しくなりやすい！

秋植えの野菜は、低い気温の中でじっくり生長するため、寒くなればな

るほど甘さが増して美味しくなりやすいメリットがあります。

秋植えの野菜は体の糖分を高めることで外気温の低さによる凍結を回避しているのですが、この仕組みにより甘味ののったおいしい野菜を楽しむことができます。

#### ②収穫時期は冬から春までと長め！

秋植えの野菜の中には、栽培を始めてから1カ月ほどで収穫できるものもあります。しかし、ほとんどの野菜は秋から冬、長いものでは秋から春と長い時期をかけてゆっくり生長します。たくさん時間をかけて育った秋植え野菜の場合は、年明けから翌年の春頃と収穫時期がとて長いので、焦ることなく、ゆっくり収穫を楽しめます。

#### ③病気や害虫が少ない！

病害虫が少ないことがメリットです。野菜の品種によっては、梅雨や夏の時期に高温多湿の状況の中、病害虫が出やすいものもあるので、初心者には病害虫被害の出にくい秋植え野菜の栽培がおすすめです。

### ◆家庭菜園で育てやすい秋野菜

#### ●9月に種まきができる野菜

ホウレンソウ、小松菜、水菜、シュンギク、リーフレタス、チンゲンサイ、ダイコン、カブ、ニンジンなどがあります。

それぞれ品種によって栽培時期が異なりますので注意をしましょう。

#### ●9月に種芋・種球を植え付けできる野菜

じゃがいも(秋植え)・ニンニク・ワケギなど

#### ●9月に苗を植え付けできる野菜

ハクサイ・キャベツ・ブロッコリー・ソラマメ・エンドウマメなど

### ◆栽培

植え付けする圃場は、排水の良い圃場を選びましょう。堆肥は2週間前、元肥は1週間前に施用して、土とよく混ぜておきます。

できるだけ土は深耕して根などを伸びやすくします。特にダイコンなど土中に伸びる野菜には大切です。

また、排水が悪い圃場は、少し高い畝にし、排水を良くしましょう。

各品目(野菜)の品種により適した

栽培時期があり、栽培適期を間違えれば抽苔(花が咲く)が起り、収穫できなくなるがあるので注意しましょう。





農を基本にした暮らしで  
環境問題に向き合う

〔福富町〕村岡 宏治さん

福富町の村岡宏治さん(60)は、有機農業に取り組み、環境問題に向き合う暮らしをしながら、地域の一人として農地を守っています。

九州出身の村岡さんは30年ほど前、地球温暖化などの環境問題の解決には過剰消費型の経済を減速させることが効果的だと考え、自分にできることから「フードマイレージ(食べ物の輸送距離を示す指標)」の観点から、最も距離の短い自給自足を志しました。不耕起や無肥料などで栽培する自然農を学びながら野菜づくりを始めました。

2001年に同町に移住。志和町の農園で研修を受け、2015年に就農し「ユニティ自然農園」を開園しました。地元の人との紹介で農地や作業場、農業機械を借り、現在は米を50a、野菜を1haで栽培しています。

年間約40品目の野菜を栽培し、詰め合わせセットを宅配で販売する他、「JA産直市」とれたて元氣市となりの農家店」や道の駅などに出荷しています。フードマイレージが短い直売所での販売は、環境負担の軽減にもつながる上、消費者の声を直接聞けるので、励みになります。

三原市大和町のホクト広島島の



▲イタリアンナスを収穫する村岡さん

こセンターの廃菌床を堆肥に利用して緑肥を育て、JAの土壌診断の活用しながら土づくりを行なっています。作物が健全に育つ方法を探しながら、試行錯誤で栽培に取り組んでいます。

村岡さんは「目の前の作物と向き合う農業は、幸せな時間を過ごせる素晴らしい仕事。厳しい暑さのなかでも無理なく丁寧に作物を育てられるよう、やり方を見直しながら長く農業を続けていきたい」と話します。

▶ Information お知らせ

アグリセンター  
棚卸による休業のお知らせ

棚卸に伴い、まことに勝手ながら**9月30日(火)**はアグリセンターを休業させていただきます。  
ご不便をおかけいたしますが、ご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。

広島中央地域  
アグリセンター 休日営業のお知らせ

**【9・10月】**  
土曜日・日曜日・祝祭日に休日営業を実施します。  
営業時間は、午前8時30分～午後5時

東広島市  
園芸センターより

環境制御装置導入支援事業のご紹介

園芸センターでは、近年の変動の激しい気候の中、農作物の安定生産や省力化などが期待できる環境制御技術の普及を図っています。  
これは、栽培施設に温度や湿度、土壌水分、二酸化炭素などのセンサーを取り付けて作物が最適に育つよう自動でかん水やカーテンの開閉などを行なうものです。  
環境制御装置の導入を検討していただけるよう、次の補助事業を紹介します。



モニタリングカメラ



環境制御装置制御盤

- 【事業名】** 環境制御装置導入支援事業  
**【対象者】** 園芸作物出荷販売農業者  
**【補助率・限度額】** 補助対象経費の1/2、上限100万円  
**【補助内容】**  
①自動制御に必要な測定センサー  
(温度、湿度、水分、二酸化炭素、日射)  
②①で感知した環境を自動制御する器具  
(換気、温度調整、灌水、施肥、日射制御)  
③センサー及び器具の制御盤  
※①②③いずれか単体の導入でも可  
※ビニールやパイプ等の消耗資材は対象外

申込・問い合わせ  
東広島市園芸センター Tel (082)433-4411

